

アグリゲノム産業研究会

第4回例会のお知らせ

アグリゲノム産業研究会は植物ゲノム研究に携わる企業関係者と研究者間の交流を深め、日本のアグリゲノム産業のあるべき姿について議論し、将来的にはコミュニティ内外への意見の発信や行政への提言を行うことを目的として活動しています。第4回例会では、アグリゲノム関連技術の最前線を振り返りながら、日本型オープンイノベーションのあるべき姿について議論します。より深い議論を行うために、これまでより1時間時間を拡大します。

2017年2月17日（金） 14:00-17:00

会場 TKP東京駅八重洲カンファレンスセンター 5D

〒104-8388 東京都中央区京橋1-7-1 戸田ビルディング 9F

研究会参加費 2,000円（当日受付にてお支払いください）

第4回例会 プログラム

14:00-15:45 話題提供

はじめに (布目司・農業・食品産業技術総合研究機構)

ゲノム配列解析の現状 (磯部祥子・かずさDNA研究所)

イオノーム解析の現状 (藤原徹・東京大学)

Phenomix+選抜育種法の現状 (岩田洋佳・東京大学)

海外における企業-アカデミアの協働事例 (福岡浩之・タキイ種(株))

16:00-17:00 ディスカッション

アグリゲノム産業でオープンイノベーションを進めていくには？

進行 岩田洋佳（東京大学）

17:30-19:30 情報交換会

プライベート・パーティールーム・スパジオ

<https://r.gnavi.co.jp/e6r6kcyk0000/>

お申し込み先

<http://www.kazusa.or.jp/workshop/Agpmeeting170217>

定員になり次第締め切らせていただきます（研究会・45名）

世話人：岩田洋佳（東京大学）

布目司（農業・食品産業技術総合研究機構）

磯部祥子（かずさDNA研究所）